

地域とともに育つ コミュニティ・スクール

令和7年7月17日

成田市教育委員会

それぞれの学校の学校運営協議会では、学校の運営とそのために必要な支援について協議し、学校運営に参画しています。地域と学校が一体となって、未来の創り手となる子どもたちを育てていく体制が整っています。

学校運営協議会の様子

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

豊住小学校

学校経営方針の承認を受けて、教育活動について協議が行われました。



●1学期の児童の様子について

授業参観の様子から、委員の方より、「楽しみながら学んでいる。」「少人数のよさがあり、関わり合いの気持ちをもって学べる。」等の感想がありました。また、特別教室や準備室等の学習環境について、校内施設点検も行われ、危険箇所や死角となるような場所はないか、児童の目線で確認されました。

●教育活動（小規模特認校の取組）について

地域と連携した教育活動を展開しており、特に豊住地区の社会教育団体と連携した活動が充実しております。「地域や学校の特色に応じた活動があれば、協力していきたい。」「大豆の栽培から味噌づくりの協力も得られるのではないか。」等のアイディアが出され、教育活動（学校行事・特別活動・総合的な学習の時間等）、交流行事、各団体のイベント等を整理して、更に連携できる方法を考えていくとよいという意見もありました。

<地域や家庭と連携した取組>

「謎解きアドベンチャー」「水鉄砲大会・野菜詰め放題」「盆踊り大会」「ふれあいフェスティバル」「放課後子ども教室：夏休みイベント」「ほたるの放流」「全校水あそび大会（児童が企画）」「豊住未来プロジェクト（栽培活動）」等

大栄みらい学園

第1回目の学校運営協議会での学校経営方針の承認を受けて、教育活動について協議が行われました。



●1学期の教育活動について

授業参観の様子から、複数の委員の方より、「子供たちが落ち着いていて、全体がまとまっている雰囲気である。」との感想がありました。また、特別支援学級の授業では、活動の工夫があり、一人一人の児童・生徒の実態に応じた対応がされているとの感想もありました。5月に行われた体育祭の様子についても話題となり、1年生から9年生までがそろって一体感のある大変すばらしい取組で、感動的であったとお話がありました。

●学校の課題について

交通安全（自転車の乗り方等）、環境整備・資源回収の状況等について話題となりました。「自転車の登下校で危険な場所があるので、スクールバスの乗降も含めて、地域での見守り隊の活動を継続し、児童・生徒の安全を守っていく。」「ボランティアを募って環境活動の協力を得るのはいかがでしょうか。」「地域として資源回収の協力もできる。」等のアイディアが出されました。また、教育活動においても、さつまいもの栽培活動で地域が関わっていることから、その他の活動でも地域人材を活用し、子どもと地域が触れ合うことで、コミュニティが広がるとよいとの意見も出されました。